

充電・放電のコントローラーについての補足説明

- ◇ 極性(プラス・マイナス)を確認して誤りの無い様に注意して接続してください。
- ◇ バッテリーとコントローラー、負荷とコントローラーの間に適切な容量のヒューズを入れてください。ヒューズはなるべくバッテリーの近くに入れてください。
- ◇ 充電のみの目的でコントローラーを使用する場合、放電接続部分は使用しません。
- ◇ 安全のため、コントローラーを使用しない場合は接続を外して保管してください。
- ◇ コントローラーの負荷端子に、DCAC インバーターや容量をオーバーする直流機器を繋がないでください。容量は起動電力や最大電力を十分カバーすることを確認してください。とくに、モーター関係はご注意ください。容量が分からない場合はバッテリーに直接繋ぐことをお勧めしますが、この場合は負荷制御を利用できません。
- ◇ 出力定格容量以上の電気製品を繋ぐと破損します。内部ヒューズが追いつかない場合があります修理出来ない場合があります。
- ◇ コントローラーは機種により様々な保護回路がありますがすべての条件で有効ではありません。特にショートや逆接続は様々な機器が破損する危険性がありますので十分にご注意ください。保護回路は事故を防ぐ機能です。全ての製品保護ができるわけではありませんのでご注意ください。
- ◇ 接続は製品単独で行ってください。アースをとる場合などに共通でとりますと不具合や故障の原因になります。
- ◇ 接続は、バッテリーに繋いでください。ほかのケーブルの途中に侵入させますとトラブルの原因となります。
- ◇ 精密電子機器ですのでバッテリーのガスなどの影響がない場所に設置してください。
- ◇ 防水機種以外は、雨や湿気の影響がない場所に設置してください。
- ◇ 太陽電池配線時は、太陽電池発が発電しないように、ダンボールや布でカバーをして発電しないようにしてください。
- ◇ 低電圧カット機能により負荷への出力が出来ない場合は、低電圧カット復帰電圧まで充電してください。
- ◇ 劣化したバッテリーの場合はコントローラが動作しない場合があります。正常に使用できるバッテリーをお使ください。
- ◇ 機種により充電電圧が仕様書の数値より瞬間的に上がる場合があります。これによりインバーターや負荷の動作に影響が出る場合があります。頻繁に影響が出る場合はご連絡ください。
- ◇ 充電用の確認ランプ付属の機種で充電ランプが点かない状態。充電できない状態。
 - ・ バッテリーの満充電状態によりこれ以上充電できない⇒バッテリー容量が減ってから発電状況をご確認下さい。
 - ・ バッテリーの低電圧によりコントローラが稼動しない⇒バッテリーが規定値以上になるように予め充電してください。
 - ・ ソーラー発電の日射不足⇒パネル全体を屋外の直射日光にあて、晴れの状況で確認してください。パネルの一部でも影になりますと正しい発電が出来ませんので設置場所や方向を工夫してください。
- ◇ **DENRYO SABA シリーズ**について：満充電の緑点灯は太陽電池が発電している限り消灯しません